2013 年度 小委員会活動成果報告

（2014 年 1 月 27 日作成）

小委員会名	維持保全計画・保守点検小委員会	**主　査　名**：鹿毛　忠継 **就任年月**：2013 年 4 月
所属本委員会 （所属運営委員会）	材料施工本委員会（改修工事運営委員会）	**委員長名**：本橋　健司 **主　査　名**：本橋　健司
設　置　期　間	2011 年　4 月　　　～　2015　年　3 月	
設　置　目　的 各年度活動計画 （箇条書き）	建築物のスクラップアンドビルドの時代からストックの時代に移り、長寿命化が指向されるようになり、建築物の維持保全技術・改修技術の標準化の重要性がますます高まってきている。材料施工委員会では、躯体工事、防水工事、内外装工事などの標準仕様書 JASS を制定・改定するとともに、耐久・保全運営委員会のもとで耐久計画の考え方などを刊行してきたが、各運営委員会を横断した改修工事運営委員会を設置し、「改修工事標準仕様書」を制定する。本小委員会は、「改修工事標準仕様書（鉄筋コンクリート造建築物編）」の維持保全計画・保守点検について検討し、仕様書としてまとめる。 ・初年度:①2008～2010 年の標準仕様書検討委員会の活動における維持保全業務、保守点検に関する提案を検討した、②これまでに提案されている維持保全計画の考え方を整理した。 ・2 年度：①各機関における維持保全業務、保守点検業務の実態調査ならびに関連資料を収集し、課題等を検討した、②2012 年度建築学会大会の研究協議会「改修工事標準仕様書の制定に向けて」において、本小委員会の活動の方向性を議論した。その結果、改修目的は、経年劣化に対する性能回復・向上を主目的とし、維持保全計画では、今後の利用計画、耐用年数の設定などを検討することとした。 ・3 年度：「改修工事標準仕様書」の維持保全計画、維持保全業務、保守点検について、資料収集を行い、記述すべき内容（目次・本文・解説）を検討した。 ・4 年度：仕様書における維持保全計画ならびに保守点検に関する内容の最終案を作成する。	
委員構成 （委員名（所属））	**委員公募の有無**：なし	
	鹿毛忠継（国総研）、桝田佳寛（建振協）、野口貴文（東大）、井上照郷（NSK）、古賀純子（国総研）、高倉智志（BELCA）、畑中　聡（UR）、渕田安浩（大林）、武藤正樹（建研）、土屋直子（建研）	
設置 WG （WG 名：目的）		
2013 年度予算	50,000　円	**ホームページ公開の有無**：現在のところ、なし **委員会 HP アドレス**：現在のところ、なし

項　　目	自己評価
委員会開催数	2　回（年度内計画を含む）
刊行物（シンポジウム資料等は除く）	「改修工事標準仕様書」として刊行予定
講習会	2015 年度に実施予定
催し物 （シンポジウム･セミナー等） *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	2012 年度大会（名大）において、研究協議会を実施
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	１.「改修工事標準仕様書」の維持保全計画、維持保全業務、保守点検について、資料収集を行い、記述すべき内容（目次・本文・解説）を検討した。 ２．上記のとおり、当該年度の目標は十分に達成できた。
委員会活動の問題点・課題	現在のところ特になし

＊小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。
＊表中の「（書名）」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。